



静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

この人に聞く！

しん きよん
申 琪榮 さん

米国ワシントン大学政治学博士、お茶の水女子大学教授
(一社) パリテ・アカデミー共同代表

・・・ 2020 年、コロナ禍と女性の政治参画 ・・・

※当エッセイは 2020 年 12 月に執筆したものです。

2020 年はグローバル・ジェンダー・ギャップ指数がもたらした衝撃とともにスタートしたと言っても過言ではないだろう。同指数はこれまでも毎年年末に発表されてきたが、2019 年末に発表された日本の順位が前年度から 11 位も下がって過去最低（調査した 153 か国のうち、121 位）となったことで大きな反響を呼んだ。すでに指摘されているとおり、日本の順位が低いのは政治と経済分野の男女格差が縮まらないからである。両分野ともに女性の進出は依然として進まず、順位は下落を続けてきた。またこれまでもジェンダーギャップ指数はしばしば言及されてきたが、今年ことに大きな話題になったのは、安倍政権が「女性が輝く社会」を政策目標に掲げてきたにも関わらず結局目立った成果をあげられなかったからであろう。例えば、2016 年に経済分野における女性の進出を促進するために「女性活躍推進法」を、2018 年には女性議員を増やすために「政治分野における男女共同参画を推進する法律」をそれぞれ制定したものの、成果を出せないまま安倍政権は幕を閉じた。



それと対照的に、今年はコロナ対策に優れた海外の女性政治リーダーたちが大きな注目を集めた。政府が率先して市民の命と健康を守ろうとする姿勢と、感染予防のために協力を求める彼女らの冷静で説得力のあるコミュニケーション能力に多くの人々が触発された。市民の声が届く政府、市民に寄り添う政治の重要性を改めて気付かせてくれたと思う。そのような気づきは 2020 年の世界の政治に大きなインパクトを与えた。これまで政治を身近なものと感じていなかった人々も政治への関心が高まり、政治に参画する女性や若者が増えたのである。2018 年からの #MeToo 運動に続き、コロナ禍の経験は多様な背景を持つ人々が政治に進出する一つのきっかけとなった。

次ページへ続く ➡

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085 e-mail : info@azarea-navi.jp

URL : <https://www.azarea-navi.jp/>

編集・発行：あざれあ交流会議グループ

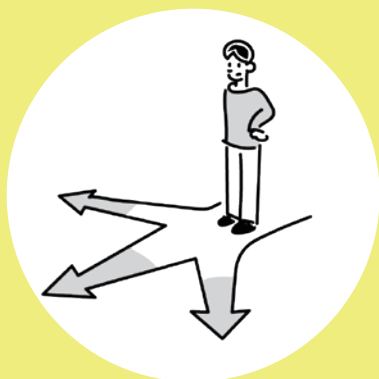
今年国政選挙があった国々の状況を見てみると、そのような変化の兆しが見えてくる。例えば、今年1月には台湾の総選挙があった。台湾初の女性総統である蔡英文氏は前回は130万票上回る票を獲得し（57.13%）再選を果たした。彼女が率いる民進党も立法院の過半数を維持し、女性議員は前回よりさらに増えて41.6%（47名）となった。この数値はアジアでもっとも高い数値である。また日本とは違って、台湾の政党は与野党の女性議員の数に大きな差はない。蔡英文総統は中国に対して毅然とした態度を取ったことで市民の評価を得た以外にも、2019年にはアジアで初めて同性婚を合法化するなど多様性を重んじる政策を打ち出してきた。さらに今年はコロナ対策においても決断力ある政策を実施して世界の注目を浴びた。危機においては女性リーダーは相応しくない、という偏見を彼女は打破して見せたのである。



コロナが本格的に世界に広がった4月には韓国で国政選挙が行われた。コロナ対策に成果をあげた与党が大勝利を収める結果となったが、女性議員はわずか2ポイント増えるにとどまった（19%）。韓国は近年、若者や女性たちの間でフェミニズムが盛んになり、#MeToo運動が社会を大きく揺さぶった。しかし、女性たちの声はなかなか政治に届かず、フラストレーションが高まっていた。今年の選挙でも主要政党に変化が見込めないと感じた女性たちは男性優位の既成政党に働きかけ続けるより、自ら政党を立ち上げ闘うという新しい試みに挑んだ。韓国では史上2度目となる「女性政党」の立ち上げである。わずか数ヶ月で立ち上げた女性政党は、各世代の代表からなる執行部で構成され、あらゆる性暴力の根絶というシングルイシューを掲げて選挙に挑んだ。議席を獲得するには至らなかったものの、20万票を獲得した。数多くの政党の中で女性政党に一票を投じた20万人の思いは重く受け止めなければならない。同じ時期にイスラエルでも女性政党が立ち上げられるなど、自国の男性政治に失望した女性たちは「女性政党」の試みを通じて政治に警鐘を鳴らした。

世界の注目を集めたアメリカの選挙はどうだろうか。アメリカ大統領選挙は、2年ごとに行われる下院選挙と、議員の1/3が対象になる上院選挙が同時に実施される。今回の選挙では民主党のバイデン氏がトランプ大統領を破って勝利したが、副大統領に初めて有色人種の女性、カマラ・ハリス氏が決まったことで歴史的な選挙となった。ハリス氏はカリフォルニア州の上院議員で以前から女性大統領候補の一人として注目されていた。ハリス氏の当選によって、女性が最高のガラスの天井を打ち破るのに後一步のところまで近づいたと言える。皮肉なことに、トランプ大統領在任の4年間は女性の政治参加が最も進んだ時期でもあった。彼のミソジニーや白人優越主義に危機感を覚えた女性たちがそれに抗議する大規模なウィメンズマーチを2017年から始めたほか、直接政治に参加しようとする機運が高まったからである。「女性の年」と言われた2018年に女性議員が多く増え（主に民主党議員）、今年も下院の女性議員がさらに増加して（主に共和党）141名（26.4%、うち下院が117人、上院が24人）が当選を果たした。非白人女性も51名といずれも過去最多となった。

コロナ禍は人々に政治の重要性について認知する契機となったことで、政治を変化させる力をも生み出した。日本でもコロナ禍中に繰り返された政策の失敗は、女性や若者が政治に関心を持つきっかけとなった。しかし、秋に誕生した新政権からは、男性中心的な従来型の政治に変化をもたらす兆しは感じられない。高齢男性らの顔ぶればかりが並ぶ自民党幹部の写真が時代遅れの象徴として大きな話題になったほどだ。誰もが危機にある今こそ、みんなにとって生きやすい社会を実現することが政治の最優先課題である。そのためにまずは、それらの課題を解決する責任を担うはずの政治、そのものが大きく変わらなければならない。



☆当エッセイは男女共同参画マガジン「WEB エポカ」でもお読みいただけます
<https://azarea-epoca.jp/shinkiyon.html>



申 琪榮（シン キヨン）さん 略歴

米国ワシントン大学政治学博士、お茶の水女子大学教授、（一社）バリテ・アカデミー共同代表。
近著に『女性の参画が政治を変える——候補者均等法の活かし方——』（共著）、“An Alternative Form of Women’s Political Representation: Netto, a Proactive A Women’s Party in Japan,” Politics & Gender, “Women’s Parties: A New Party Family,” Politics & Gender（共著）、“Gender, Election Campaigns and the First Female President of South Korea,”『ジェンダー研究』など多数。

誰もが心豊かに 働きやすい職場をつくる

特別養護老人ホームやデイサービス等、高齢者向けのサービス事業を手掛ける社会福祉法人美芳会。職員数 158 人、うち女性 120 人と、職員の約 8 割が女性で占めている同事業所では、“女性が働きやすい職場づくり”に力を入れて取り組んでいる。

「働きやすい職場づくりを目指している」ということは、上司もよく話していますね」そう語るケアワーカーの栗原愛さんは、美芳会が運営するユニット型特養施設「風の杜」で働きはじめてもうすぐ 2 年。「ここなら働きながらでも家庭のリズムが崩れないかなと思いました」と話す栗原さんは、8 時から 17 時まで勤務する傍ら、夫と協力し合い、家事や子育てをこなしている。「子どもたちがまだまだ成長期で自分の時間が持たなくて大変ですが、定時になると周りのスタッフが“もう時間だよ、帰りなよ”と声をかけてくれます。残業もほとんどありません」

同事業所では、女性が活躍するための取組を打ち出している。そのひとつに「魅力的な有給休暇制度と取得促進」があり、法定より 4 日多く有給休暇が付与されている。「有休を取りやすい雰囲気職場にはありますね」と栗原さんは言う。また、その他の取組として「育児関連の利用促進」「働きやすい職場のための管理職育成」がある。「例えば“子どもの行事があるので休みたい”とか、ちょっと言いづらいことでも、上司はそういう話を前向きに捉えてくれる。特に女性の上司は子育ての大変さも分かってくれるので助かります。とても話しやすいですね」

美芳会は、国の子育て応援認証「プラチナくるみん」、女性活躍認証「プラチナえるぼし」などを取得。こうした女性活躍推進の取組が高く評価され、「令和 2 年度静岡県男女共同参画社会づくりに関する知事褒章・女性の活躍推進事業所の部」を受章した。

最後に、仕事上での目標として「施設の利用者さんが施設での生活を送る中で、楽しめとか、“良いことがあったな”と思ってくれるように寄り添っていきたいです」と話してくれた栗原さん。利用者さんも、そして職員自身も、誰もが心豊かでいられるための同事業所の職場づくりの取組に、今後も注目していきたい。



ケアワーカーの栗原愛さん 利用者さんと一緒に

ブックサポーター 49

しん きょん
申 琪榮さんが執筆した本

『性化された権力 - #Me Too 運動が明らかにした ハラスメントの実態と変革の可能性 -』

(『女性労働研究 第 63 号』すいれん舎 2019 年)



世界各国に広がった #Me Too 運動を、発端国アメリカと影響の大きかった韓国の事例をもとに、性暴力・セクハラを起こす権力構造の仕組みを考察しています。また、日本での #Me Too 運動がなぜ社会的承認を得られないのかについても言及しています。

『女性候補者のなり手を増やすための試みー パリテ・アカデミーの実践が示唆すること』

(『女性の参画が政治を変える』信山社 2020 年)



日本の政治分野になぜ女性が少ないのかを分析し、自らが立ち上げた「パリテ・アカデミー」の現状を解説します。女性候補者として若手女性に重点を置く意味や「パリテ・アカデミー」が他の政治塾と異なる理由、そして、アカデミー実践の成果と今後の問題点を考察しています。



あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書 5 冊、ビデオ・DVD 2 本 (2 週間)
開室時間：月～金 9:00 ～ 18:00 土日祝 9:00 ～ 17:00
休室日：第 1・3・5 日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759

令和3年度

男女共同参画の今を知る情報誌「ねっとわあく」の

編集員を募集します

ジェンダーや男女共同参画について日頃から感じていることはありませんか？あなたの感じている疑問は社会が抱えている課題でもあります。性別に関わりなく、誰もが自分らしく暮らせる社会を目指して、あなたの記事を静岡県の皆さんに発信しましょう！

【仕事内容】「ねっとわあく」（年2回発行予定）の企画、取材、原稿の作成・編集、発送

【応募条件】・ジェンダーに関心があり、男女共同参画の視点から企画を立て、取材・記事作成が行えること
・インターネットに接続されているパソコン環境が自宅にあり、メールの送受信が可能であること
・ワード等を使って文章作成ができること
・編集会議に参加できること
※会議は平日昼・年10回程度実施予定（会場はあざれあ）／会議日程は編集員のスケジュールを確認し、その都度決定

【任 期】令和3年5月頃～令和4年3月 / 【募集人数】若干名

【謝 金】1号発行につき30,000円程度（会議半日出席2,000円／1日出席4,000円＋号発行時10,000円）
※別途、会議や取材などの交通費支給

【応募方法】応募用紙と課題作文を、郵送・FAX・メールのいずれかでお送りください。

※応募用紙は「静岡県男女共同参画ポータルサイト「あざれあナビ」」の
「令和3年度「ねっとわあく」編集員募集ページ」からダウンロードしてください。

https://www.azarea-navi.jp/cyottoe/r3_nw/



あざれあナビ

【課題作文】「あなたが考える男女共同参画の課題」をテーマに、作文を書いてください（1,000文字以内）

【選 考】募集締切後に選考を行い、4月末までに電子メールで結果をお知らせします。

【備 考】・メールにて応募書類を受理した場合、応募受付完了のメールを送信します。メールが届かない場合は、応募書類が届いていない可能性がありますので、電話でご確認をお願いします。
・迷惑メール対策等で受信の制限をされている方は、info@azarea-navi.jpのアドレスを受信できるように設定をお願いします。
・『ねっとわあく』のバックナンバーは「あざれあ図書室」または「あざれあナビ」でご覧いただけます。
・新型コロナウイルス感染症の影響により、実施内容が変更となる場合があります。

【お問合せ・応募書類送付先】NPO法人あざれあ交流会議『ねっとわあく』編集員募集 係

☎422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

TEL 054-250-8147（平日9～18時）／FAX 054-251-5085／メール info@azarea-navi.jp

募集締切

令和3年

4/12 (月)

必着

あざれあ相談 悩んだとき、困ったときは、あざれあへ

女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。



0558-23-7879 賀茂／055-925-7879 東部
054-272-7879 中部／053-456-7879 西部

※全てあざれあの相談専用電話に転送されます。

月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも、祝日・休館日を除く
※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

DV その他暴力に関する相談（予約制面接相談）

月・木 10:00～15:00／水曜日 14:00～19:00

◎まずは電話相談におかけください。

インターネット相談

専用の入力フォームに相談内容を記入して送信してください。

※相談に対する回答は、1週間程度かかります。お急ぎの場合は、電話相談をご利用ください。
※GW、お盆、年末年始等あざれあ相談を実施していない期間は送信いただいた相談を確認できませんので、回答には通常よりお時間をいただきます。ご了承ください。



あざれあ相談

<https://www.azarea-navi.jp/shisetsu/soudan/>

男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。



専用電話 054-272-7880

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次週の土曜日に実施します。